

音楽Ⅱ

単位数	2 単位	対象学年	3 学年	対象コース・クラス	チャレンジA・B・ 介護福祉コース
使用教科書	MOUSA 2 (教育芸術社)	副教材等	学校作成プリント		

1. 学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情と音楽文化を尊重する態度を育てるとともに、感性を磨き、個性豊かな音楽の能力を高める。

2. 到達目標に向けての具体的な取り組み

- ①歌唱・器楽による表現活動および鑑賞活動の幅広い学習を通して、音楽を愛好する心情を育てる。また、幅広いジャンルを扱い、様々な音楽文化に興味・関心を持てるようにする。
- ②音楽が有する良さを感受し、個性豊かに表現する能力を育てる。
- ③我が国や西洋音楽を含む、諸外国の音楽を学習し、それぞれの音楽文化の特性や良さを感受するとともに、多様な音楽観の育成を図る。

3. 学習上のメッセージ

音楽Ⅱでは、音楽Ⅰの内容より深く、さらに幅広い音楽観を学ぶという要素が多くなります。意欲と積極性もしっかり持って取り組みましょう。歌うことはもちろん、楽器、ジャンルにとらわれない世界の音楽を表現、鑑賞し、音楽の特徴や文化の違いなどを学び、音楽を通して、感性を豊かにし、音楽をする喜びや感動を味わっていきましょう。

4. 評価の観点・方法（年間の評定）

評価は次の4つの観点から行う。



関心・意欲・態度	音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を持ち、意欲的に音楽活動しようとしている。
音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。
音楽表現の技能	感性を働かせて、音楽の良さや美しさを感じ取り、創造的に表現を工夫しようとしている。
鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、良さや美しさを創造的に味わって聴いている。

評価は、具体的に次のものを対象とする。

- ①授業中に行う実技試験
 - ②授業中の発問に対して解答を記入し、提出されたプリント等
 - ③広島桜が丘高校生徒として、規則に則った服装での学習活動への参加状況。また、実技中心の教科のため、実技への意欲、授業の参加状況等
- 一年間の評定は、年間を通して、総合的に判断し、決定する。

5. 学習内容と評価について

単元名	使用教科書項目	指導内容と評価のポイント
詩の内容を理解して歌おう	「糸」「涙そうそう」等	<ul style="list-style-type: none"> 積極的に表現活動に取り組んでいるか。 歌詞やリズムの変化など曲調を生かした表現を工夫しようとしているか。
いろいろな国の歌曲を歌おう	「Ave Maria」等	<ul style="list-style-type: none"> 姿勢や身体の使い方、発声法その他、レガートやスタッカートの方法を理解し、取り組んでいるか。 リズム、速度、旋律のフレーズ、言語と旋律とのかかわりを理解し、表現できているか。
音の響きや表情を感じ取って演奏しよう -器楽-	「さくら」	<ul style="list-style-type: none"> 器楽曲に積極的に取り組み、美しい音色で表現しようとしているか。 音色、リズム、速度、旋律などの要素とそれらの働きを理解し、演奏できているか。
西洋音楽の歴史を理解するとともに、鑑賞の力を高めよう	「水の戯れ」 「レクイエム」	<ul style="list-style-type: none"> 声や楽器の音色の特徴と表現上の効果とかかわりを理解しようとして取り組んでいるか。 楽曲の文化的、歴史的背景や作曲者による表現の特徴を感じ取って聴いているか。
1 学期期末試験		
世界の諸民族の音楽を通して、音楽文化について理解を深め、自己の音楽観を広げよう	世界の諸民族の音楽、 ラテン・アメリカの音楽	<ul style="list-style-type: none"> 諸民族における声や楽器、身振りなどによる表現の特徴を理解しようとしているか。 曲想と音楽を形づくっている要素とのかかわり、発声法や歌唱法の特徴を生かした歌唱表現を理解しようとしているか。
表現を工夫し、独唱や重唱、合唱をしよう	合唱祭 曲目 混声二部・三部合唱 「幼き日のアルバム」 「早春賦」等	<ul style="list-style-type: none"> 発声や音色、強弱、旋律などの要素の働きを生かした表現ができているか。 曲想と歌詞の内容とのかかわりを理解しているか。 楽曲にふさわしい表現ができているか。
音楽理論 (楽典)	音程・和音・反復記号	<ul style="list-style-type: none"> 音楽表現に必要な知識を身につける。
我が国や郷土の伝統音楽への理解を深めよう	日本の伝統音楽 郷土の伝統音楽	<ul style="list-style-type: none"> 物語の内容や伝統音楽の特徴を理解し、進んで鑑賞しているか。 日本の伝統音楽についての知識を深める。
2 学期期末試験		
グループによるアンサンブルコンサートをしよう	音楽Ⅱの教科書掲載曲 生徒の作品	<ul style="list-style-type: none"> 声や楽器の組み合わせによる表現上の効果、音楽を形づくっている要素の働きを理解しているか。 調和のとれた表現の工夫ができているか。
3 学期卒業試験		

内 容		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
		上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	
学習の手引き シラバス説明															
	詩の内容を理解して歌おう														
	いろいろな国の歌曲を歌おう														
	音の響きや表情を感じ取って演奏しよう-器楽-														
	西洋音楽の歴史を理解するとともに、鑑賞の力を高めよう														
1 学期期末試験															
	世界の諸民族の音楽を通して、音楽文化について理解を深め、自己の音楽観を広げよう														
	表現を工夫し、独唱や重唱、合唱をしよう														
	音楽理論														
	我が国や郷土の伝統音楽への理解を深めよう														
2 学期期末試験															
	グループによるアンサンブルコンサートをしよう														
卒業試験															
凡例	 授業計画  試験範囲	行事等		実技試験				実技試験				実卒業試験			